



ロシアビジネスへの挑戦～北海道発地域商社の取組事例～



HOKKAIDO CORPORATION

弊社紹介～ビジョン

～北海道のための総合商社～

当社は北海道に眠る価値の高い農畜水産物、食品、日用品、工業製品や知的財産物等を掘り起こし、海外市場の開拓を通じ、ふるさと北海道経済の活性化を目指します

弊社紹介～代表ご挨拶

ご挨拶

地方創生が求められる中、地域企業は外貨獲得のため「国際化」の実現に向けて動き出しました。特に私どもが住む北海道の企業においては、北海道と気候風土が同じロシアや北海道ブランドが浸透している中国・ASEAN地域で大きなビジネスチャンスがあると感じております。

しかしながら、10年以上にわたり海外ビジネスを支援してきた私の経験から感じることは、地域企業が単独で海外進出し、成功を収めることは容易ではないということです。

それには、売上代金回収や為替変動による不安、あるいは言葉の違いによる交渉の難しさや現地情報の不足など多くのハードルがあること、さらに最適な国際物流を考えなければ価格競争力が失われるといった様々な理由が考えられます。

こうした背景から、この度北海道の有力企業の皆様から協力を得て、小回りのきく地域発祥の総合商社を設立し、ワンストップで地域企業の海外展開を支援する仕組みを作りました。

私どもは結果にコミットし、皆様と一緒に新しい国際市場を開拓していく覚悟です。地域企業と地域金融機関そして地域商社が三位一体となって北海道をもっと元気にしていくことへ挑戦して参ります。



代表取締役 天間 幸生

弊社紹介～会社概要

会社概要

| | |
|--------|---|
| 商号 | 北海道総合商事株式会社 (HOKKAIDO CORPORATION) |
| 所在地 | 060-0063 札幌市中央区南3条西6丁目3-2 南3条グランドビル5F |
| TEL | 011-232-1113 |
| FAX | 011-231-1118 |
| ホ-ムペ-ジ | http://www.hkdc.co.jp/ |
| 設立 | 平成27年10月30日 |
| 資本金 | 100百万円 |
| 子会社 | ペガスHC(ロシア ウラジオストク市) |
| 取引金融機関 | 北海道銀行 |

主要株主

北海道建物株式会社
北海道リース株式会社
株式会社 アスピック
DCMホーマック株式会社
苦小牧埠頭株式会社
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
株式会社 北海道銀行
株式会社 伸和ホールディングス
フラット合成株式会社

平成27年12月28日現在

提携先

株式会社 ミナト国際コンサルティング
三優監査法人(BDO Japan)
株式会社 北海道銀行

弊社紹介～代表者経歴

天間 幸生（てんま ゆきお）

1972年生まれ 青森県出身

日本大学 農獸医学部卒

- | | |
|----------|------------------------------|
| 1995年4月 | みちのく銀行入行。 |
| 2007年4月 | ハバロフスク支店長。 |
| 2008年9月 | 北海道銀行入行 |
| 2012年4月 | 北海道銀行ユジノサハリンスク駐在員事務所副所長 |
| 2014年3月 | 北海道銀行ウラジオストク駐在員事務所長 |
| 2015年12月 | 北海道総合商事株式会社代表取締役就任 ～現在に至る |

弊社紹介～講演者経歴

伊藤 彰浩（いとう あきひろ）

1983年生まれ 北海道出身

小樽商科大学 社会情報学科卒

2006年4月

北海道銀行入行。

2014年4月

バンコクカシコン銀行出向。

2017年7月

北海道総合商事(株)出向。

2019年5月

北海道総合商事(株)

常務執行役員就任。

～現在に至る



食品輸出～ロシア

日本食品の輸出拡大に向けた取組（ロシア）



- 北海道産加工品、農產品、水產品の輸出入



- 日本產品を活用した現地外食店におけるマーケティングイベントの実施



- 欧露地域における販売先拡大に向けたスーパーイベント実施

日用品輸出～ロシア

ロシア向けメイドインジャパン日用品の販売拡大



- ロシア全土に広がるロシアポスト店舗網での販売
- E Cへの展開

1

- ウラジオストク中央郵便局を弊社にて改裝
- アンテナショップとしての機能拡大へ

2

- 日本を代表する美顔器のロシア総代理店に

3

日用品輸出～ロシア郵便との取組み



<ロシア郵便局との基本売買契約の締結>

ロシアの郵便局は店舗内に簡易な食品や生活用品を販売するスペースを有しており、弊社は日本製品をロシア郵便局へ販売出来ます。

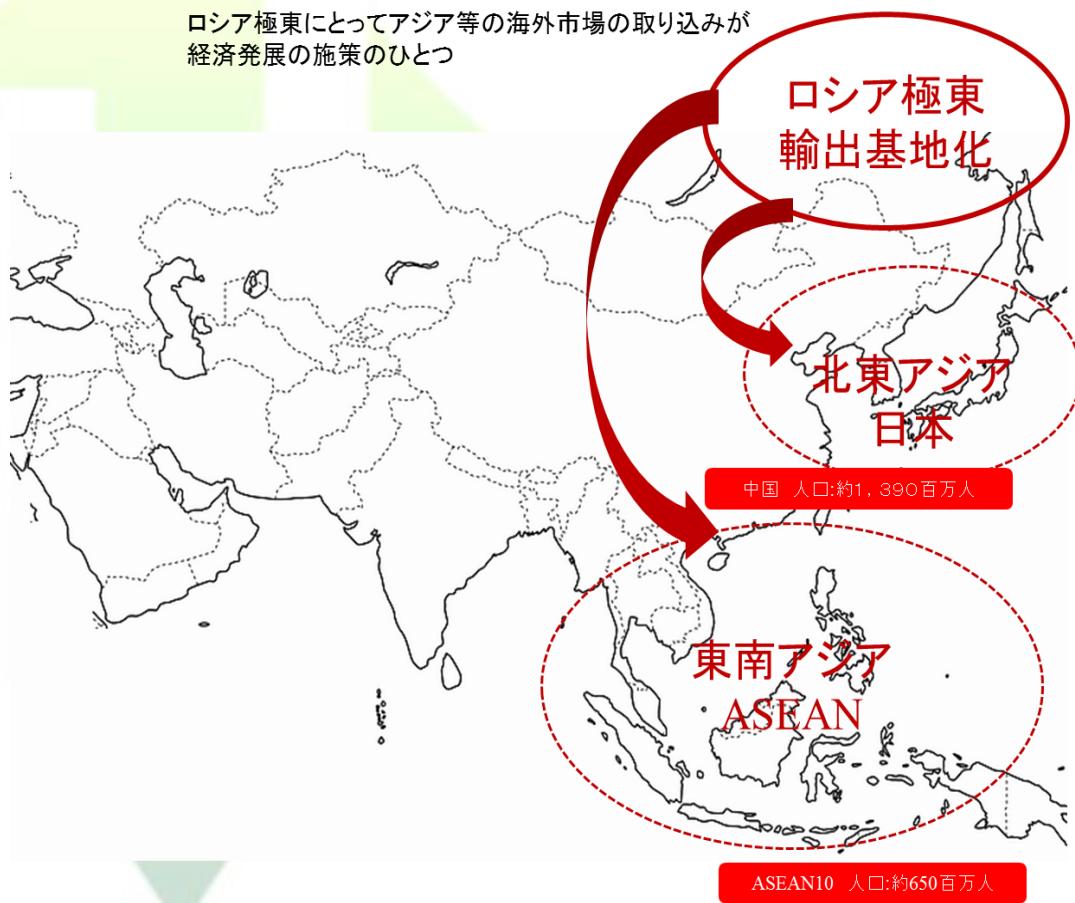
ロシア郵便局との連携による日本商品の販売拡大

- ◆ ロシア全国にある郵便支局42,000店舗のうち、2019年3月時点で6,200店舗まで日本商品の取り扱いを拡大中。
- ◆ シャンプーやフェイスマスク、衣料用・キッチン用洗剤などの生活用品がメイン。
- ◆ 今後は日本郵便と連携し、ECへの展開を目指す。

➡ ウラジオストク中央郵便局で展示される日本製品

穀物・野菜輸入～ロシア

ロシアからの輸入拡大に向けての取り組みについて



- 1 • 大豆、とうもろこし、小麦などの
穀物
- 2 • ニンジン、玉ねぎ、かぼちゃなど
のカット野菜
- 3 • ウニ等の海産物

外食業支援～日本食文化の輸出

飲食業進出支援～ウラジオストク・モスクワ



居酒屋出店支援

1

ラーメン店出店支援

2

欧露地域における外食出店支援

3

外食業支援～日本食文化の輸出

居酒屋 「炎」～ウラジオストク 2017年4月オープン



外食業支援～日本食文化の輸出

ラーメン店 ~ウラジオストク 2017年9月オープン



外食業支援～日本食文化の輸出

松屋 ~ モスクワ 2019年3月 仮オープン

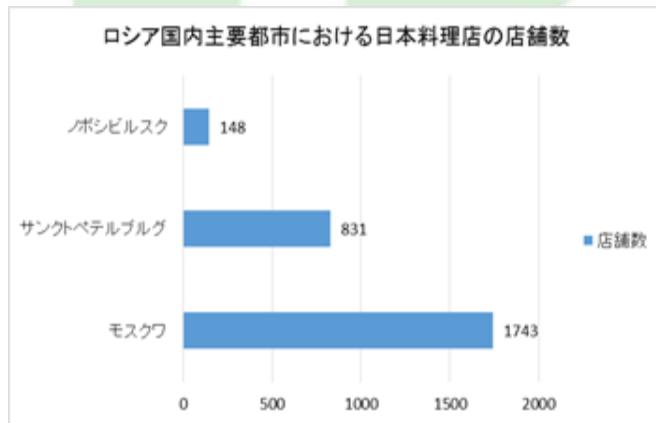


外食業支援～日本食文化の輸出

今後の外食店進出支援について



モスクワ・シティのビル群



出所：ロシア各地の飲食店の最新情報サイト「日本料理店」

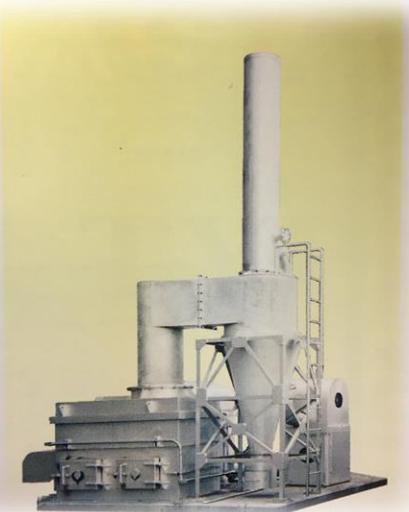
- 海外の日本食レストランは、日本の食文化の発信や輸出促進を図る重要な拠点。

- モスクワとサンクトペテルブルクの両都市で日本食店の店舗数は2,500店舗を超える。

- モスクワ・シティ内に「和食会館」を設置し、1フロアを日本食店にする計画。

技術の輸出～ロシア・モンゴル・ベトナム

日本技術の輸出拡大に向けた取組（ロシア・モンゴル・ベトナム）



1

- ・日本の寒冷地技術が盛り込まれた温室栽培施設の拡充
- ・無煙小型焼却炉を提案

2

- ・ヤクーツクにおける温室栽培施設建設の取組が評価
- ・モンゴル向けの農業資材輸出開始

3

- ・ベトナムにおける温室栽培を開始。「メイドバイジャパニーズ」による高糖度トマトの栽培・販売

ヤクーツク温室プロジェクト

試験温室の取り組み



【2015年】

- ・サハ共和国政府系金融機関であるアルマーズエルギエン銀行から北海道銀行へ温室建設支援の依頼があった。
 - 冬場最低気温 -64度になる極寒地であること
 - 永久凍土の上に温室を建設すること
 - 温室農業技術者が不在であること
 - 光合成に必要な日射量が12月1か月で9時間しかないこと

【2016年】

- ・1000m²のテスト温室建設

【2017年】

- ・第二期工事1haの建設手続き開始

※弊社は北海道の温室業者ホッコウと共に温室資材提供

【2018年】

- ・第二期工事 (1ha) 着工

【2019年】

- ・第二期工事 (1ha) 完成
- ・第三期工事前半 (0.8ha) 完成予定

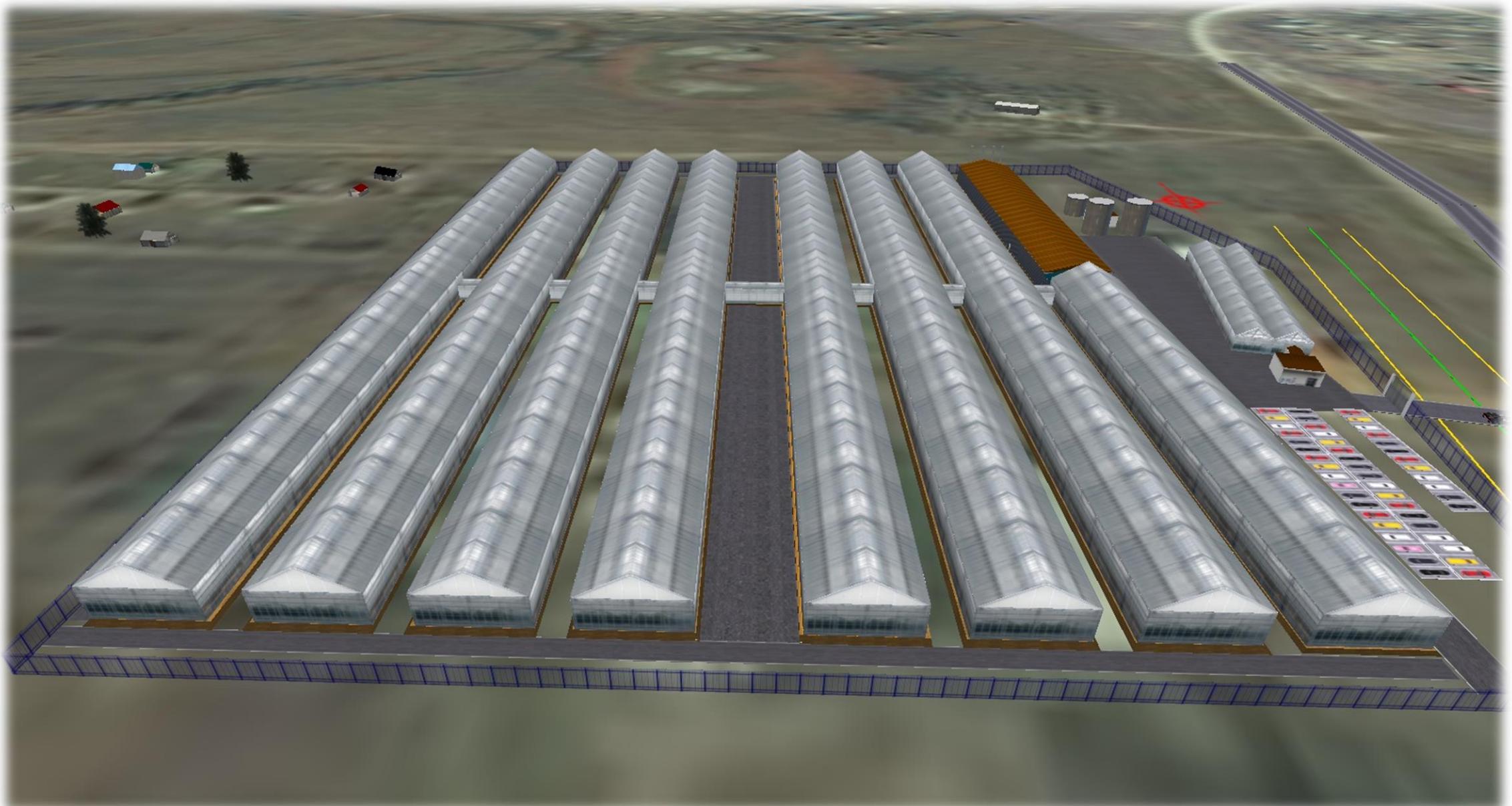
【2020年】

- ・第三期工事後半 (1.2ha) 完成予定

※ 合計3haの温室本格稼働予定



サハ共和国温室プロジェクト完了後のイメージ



第3期工事 2019年～2020年

第3期工事：12000m² (2020年予定)

第3期工事：8000m² (2019年)

第2期工事：10,000m²(完成)

第1期工事：
1,000m²(完成)





サハ共和国における一般・産業廃棄物リサイクルプロジェクトについて

これまでの経緯

リサイクル P

- 2018年5月、ヤクーツクのZHILKOMSERVIC社と共に、医療廃棄物を安全に焼却処分出来る小型の無煙焼却炉の稼働試験を完了。
- 許認可取得手続き中であり、取得後に、サハ共和国内に点在する各村に提案を行い、ごみ処理の課題解決に取り組む予定。
- 2018年6月、一般・産業廃棄物リサイクル事業取組に向けたMOUを締結。
- 2018年9月、上記プロジェクト実現に向け、解決可能な技術を有する三光株式会社（鳥取県）を交えたMOUを締結。
- 現在、ファイナンススキームを含めた検討を行うため、国際協力銀行を交えて交渉中。

検討中ごみ選別機の写真



| | |
|----------|---|
| メーカー名 | 株式会社御池鐵工所 |
| 目的 |  <ul style="list-style-type: none">・ 廃棄物のリサイクル率の極大化・ 廃棄物の埋立処分量の減量化 |
| 主なリサイクル品 | 紙類、ポリマー類、金属、木材 等 |
| 計画処理量 | 250t/日 |
| 設置面積 | 95m × 45m (広さ 約4,275m ²) |



プロジェクト事業背景及び今後の予定

背景

- サハ共和国ヤクーツク空港国際ターミナルの改修工事において、ヤクーツク空港から日本の設計及び設備更新にかかる提案の打診を受ける。
- プロジェクト予算規模はおよそ25億円程度。
- 改修工事の内容は、「顧客の動線をスムーズに行える設計」から「チェックインカウンターシステム」、「安全管理用センター」、「荷物の通関制御用センター」ならびに「飛行機の着氷を防ぐための装置」なども含む予定。



MOUについて

- 2018年12月、ヤクーツク空港との間で「国際ターミナル再建（修復）プロジェクト実現協力覚書」を締結し、協力して事業を進めていくことを合意。

今後の予定

| スケジュール | 内容 |
|--------|----------|
| 2019年 | 設計案・見積もり |
| 2020年 | 着工 |
| 2021年 | 設備導入 |
| 2022年 | 稼働 |



技術の輸出～ロシア水産関連

日本技術の輸出拡大に向けた取組（ロシア水産関連）



ご清聴ありがとうございました。

Спасибо за вни
мание!